

平成 28 年度事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

全国フードバンク推進協議会

1 政策提言

農林水産省への意見書の提出、国会議員へのロビイングを行ないました。

(1) 農林水産省への意見書の提出

農林水産省が策定した「フードバンク活動における食品の取扱い等に関する手引き」に対して加盟団体からの意見を集約し、意見書を提出しました。



加盟 17 団体からの意見を集約し 2016 年 9 月 5 日（月）
農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室へ意見書を提出

(2) 国会議員へのロビイング

国会議員へのロビイングを行いました。

①12 月 12 日 議員会館訪問

- ・衆議院第 1 議員会館 3 議員事務所
- ・衆議院第 2 議員会館 5 議員事務所
- ・参議院議員会館 4 議員事務所

②12 月 12 日 農林水産省大臣政務官との意見交換

- ・農林水産省を訪問、農林水産省大臣政務官の矢倉克夫参議院議員と意見交換を行いました。

③2月2日 議員会館訪問

- ・衆議院第1議員会館 1議員事務所
- ・衆議院第2議員会館 3議員事務所
- ・参議院議員会館 1議員事務所

④2月2日 厚生労働省大臣政務官との意見交換

- ・厚生労働省大臣政務官の堀内のり子衆議院議員事務所を訪問、意見交換を行いました。



2017年2月2日 厚生労働大臣政務官 堀内詔子 衆議院議員事務所訪問

2 ノウハウ支援

メールマガジンの配信、電話、スカイプ、メール、資料提供、対面などによるノウハウの支援を行いました。

(1) メールマガジンの発信

4回の発信を行い、助成金情報等を発信しました。

(2) ノウハウ支援

延べ15団体に電話、スカイプ、メール、対面、資料提供などを合計23回行いました。

3 熊本震災支援

4月14日に発生した熊本地震に対して支援活動を行いました。全国のフードバンク団体へ食品提供の依頼を行い、約15トンの食品を被災地に届けました。また現地で活動を開始したフードバンク熊本に対して、活動場所に近い倉庫を借り、食品保管用の倉庫として提供しました。

震災直後は事務局2名、世話人2名を現地に派遣し支援活動に従事しました。食品保管庫での整理、支援先の選定、地元行政と現地フードバンク団体との連携関係の構築、炊き出し団体への食品提供などを行いました。



4月18日 支援物資の輸送準備



4月18日 嘉島町役場に支援物資を提供



4月21日 物流倉庫での仕分け作業



4月28日 倉庫の確保



4月28日 水（約5トン）の提供



5月2日 炊き出し団体へ飲料水を提供

4 全国フードドライブキャンペーン

第2回全国フードドライブキャンペーンを実施しました。キャンペーン期間中にフードドライブで寄付された食品の合計は、第1回目の11トンと比べ、第2回目の今回は約2倍の21トンまで増加しました。

5 寄贈食品のマッチング

(1) 食品寄贈等マッチング

2016年度は内閣府を經由した防災品、缶詰製造メーカー、NPO法人POPOLLO様から3回の食品寄贈を加盟団体とマッチングしました。また、2017年3月にはコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社と製品寄贈について合意書を締結、関東圏の8団体への飲料の定期的な寄贈が開始されました。

(2) カーブスとの連携

フィットネスクラブのカーブスジャパン様から地域のクラブと加盟団体のマッチングを実施しました。希望をいただいた全ての団体へのマッチングはできませんでしたが、28のクラブから9団体への寄贈が開始されました。

(3) 子どもの未来応援マッチングネットワークへの参画

子ども食堂、学習支援、フードバンクの分野では、全国的なネットワークを有する団体が発足しています。各分野の全国的なネットワーク組織がマッチングの窓口となり、支援に関する調整等を行なう仕組みとして「子供の未来応援マッチングネットワーク推進協議会」が発足しました。全国フードバンク推進協議会も支援企業とフードバンク団体との窓口を担う役割として参画しております。

